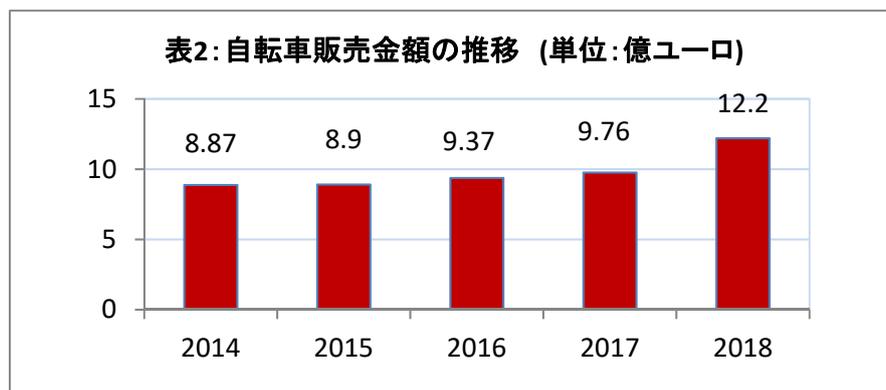
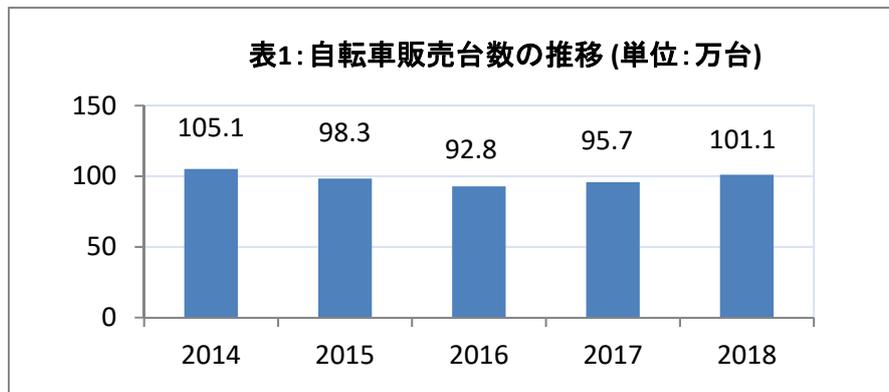


オランダ自転車市況-2018

1. 販売動向

RAI Vereniging(オランダ車両工業会、以下 RAI)、BOVAG(オランダ自動車自転車商業組合)によると、オランダの自転車販売台数は、2017年より復調の兆しを見せていたが、2018年は前年比5.6%増の101.1万台となり、2014年以来となる100万台の大台も回復した。

2018年の自転車販売金額は、前年比25%増の12億2,029万ユーロ(1,525億3,625万円)となり、2013年以降増加が続いている中でも特に大きな伸びを見せた。2018年に自転車販売台数と販売金額が共に増加した要因は、販売価格の高い電動アシスト自転車(EPAC)の販売が特に好調であったためである。



2018年の自転車の平均販売価格は、上述のEPAC販売好調により、自転車販売業全体では前年比18.3%高の1,207ユーロ(150,875円)と大幅に上昇した。従来から高額商品の取り扱いが多い自転車小売専門店も、同比12.5%高の1,222ユーロ(152,750円)と大きく上昇した。自転車小売専門店に限った平均販売価格も1,200ユーロを超え、かつてない高額に達した。

表 3: 平均販売価格の推移 (単位:ユーロ)

年	2014	2015	2016	2017	2018
平均価格(自転車販売業全体)	844	914	1010	1020	1207
平均価格(自転車小売専門店)	974	1058	1091	1086	1222

2. 業態別、価格帯別販売動向

2018年の業態別売上台数比率は、「自転車小売専門店」は前年より3ポイント減少し76%となった。それにより、ディスカウントストアやインターネット販売を含む「量販店、スーパーなど」は前年より3ポイント増の24%となった。自転車小売専門店の比率は一時7割を切るまでに落ち込んだが、2012年の66%を底に、2014年以降は再び7割を回復し前年は8割に迫ったが、2016年と同じ比率に戻った。

オランダの消費者は、品質やサービスを重視して自転車小売専門店で購入を希望する傾向が強い。特に高額商品であるEPAC購入の場合、量販等の廉価車よりも、自転車小売専門店が扱う高品質のブランド車が好まれるため、近年のEPAC販売好調により、自転車小売専門店の売上台数比率も回復したとみられる。

表 4: 業態別売上台数比率の推移

販売形態	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
自転車小売専門店	71%	70%	76%	79%	76%
量販店、スーパーなど	29%	30%	24%	21%	24%

2018年の価格帯別売上台数比率は、300ユーロ(37,500円)以下の最も低い価格帯は前年より1ポイント増の12%となり、2012年に2割を切って以降低迷している。それに次ぐ低価格帯301~499ユーロ(37,625~62,375円)は前年より5ポイント減の14%と落ち込みが目立った。中価格帯の500~699ユーロ(62,500~87,375円)は2ポイント減の19%となり比率が2割を切った。

中・高価格帯700~899ユーロ(87,500~112,375円)は前年同様の13%であったが、一方で最高価格帯900ユーロ(112,500円)以上は、6ポイント増の42%となり、全体の4割超を占めるまでとなった。最高価格帯の比率は2011年から最大となっているが、この価格帯の比率が2015年から上昇が続く理由は、販売価格の高いEPAC販売増加にあると考えられる。

表 5: 価格帯別売上台数比率の推移

価格帯(ユーロ)	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
300ユーロ以下	14%	12%	11%	11%	12%
301~499ユーロ	17%	17%	16%	19%	14%
500~699ユーロ	22%	21%	22%	21%	19%

700～899 ユーロ	20%	16%	15%	13%	13%
900 ユーロ以上	27%	33%	35%	36%	42%

3. 車種別販売動向

2018年の車種別売上台数比率は、2014年まで過半数を占めていたシティ車(ダッチバイク)を含む一般用自転車は、前年より8ポイント減少し34%となり、特に減少が目立った。ハイブリッド車(クロスバイク等)は前年より1ポイント減の4%、子供車も同じく1ポイント減の11%となり、両車種は減少傾向にある。

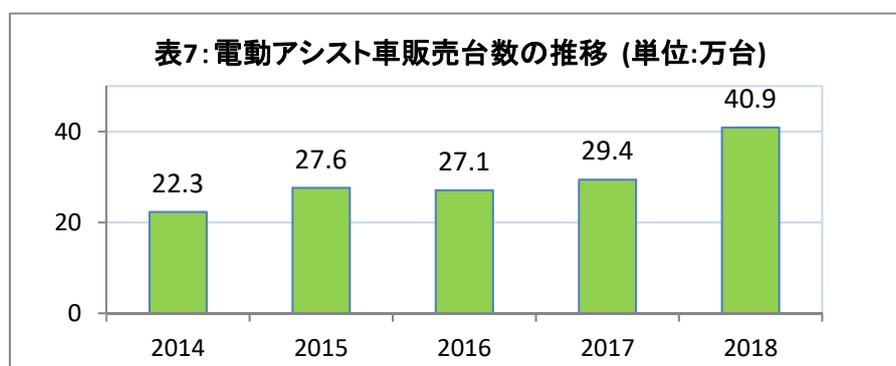
一方、ロードバイクやMTB等のスポーツ車を含む「その他」は前年より1ポイント増の11%となり、ここ数年は増減を繰り返す状態である。そのような中でも、年々比率が上昇してきた電動アシスト自転車(EPAC)は、前年より9ポイント増の40%と大幅に比率を増やし、ついに一般用自転車を抜いてEPACが最多比率の車種となった。

表6: 車種別売上台数比率の推移

車種	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
一般用自転車	51%	42%	43%	42%	34%
ハイブリッド車	7%	5%	6%	5%	4%
子供車	12%	14%	12%	12%	11%
電動アシスト自転車	21%	28%	29%	31%	40%
その他 ※	9%	11%	10%	10%	11%

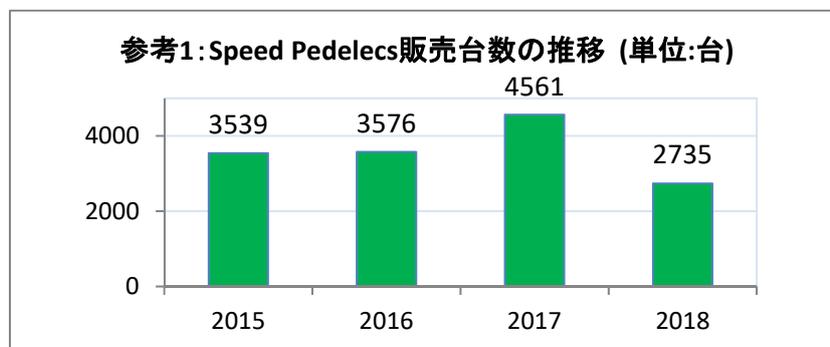
※その他にはMTB/ATB、ロードレーサー及び折りたたみ車が含まれる

EPAC販売台数は、2016年に僅かに販売台数が減少したため、同国市場のEPAC販売はピークに達したかと思われたが、その後再び増加し、2018年は前年比39.1%増の40.9万台と急増した。1年間で一気に10万台以上もEPAC販売台数は増加しており、RAIではEPAC販売はこれからも堅調に推移するとみている。



4. Speed Pedelecs

EPAC はモーター出力 250W まで、ペダル補助は速度 25km/h までと定められているが、EPAC よりもモーター出力と補助速度が高い Speed Pedelecs について、RAI は 2015 年より販売台数を公表している。2018 年の同車種の販売台数は前年比 40% 減の 2,735 台となり、好調な EPAC とは対照的に、Speed Pedelecs は不振となった。



なお、2018 年の Speed Pedelecs の販売上位 5 ブランドは、前年より台数は半減したがスイスのストーマーが前年同様首位である。次いでドイツのリーゼ&ミュラー、地元ブランドの DUTCH ID、ガゼレの他、近年の E-MTB ブームを反映してか、米国のスペシャライズドが上位に食い込んだ。同車種の人気ブランドの推移を見ることは、オランダの消費者志向を知る上でも大変興味深い。

参考2: Speed Pedelecs 販売上位 5 ブランドの推移 (単位:台)

年	2015		2016	
	ブランド	販売台数	ブランド	販売台数
1	スパルタ	1393	リーゼ&ミュラー	823
2	リーゼ&ミュラー	903	ストーマー	712
3	ストーマー	472	スパルタ	662
4	ガゼレ	128	ガゼレ	518
5	カルクホフ	119	アクセル(バタバス)	125

年	2017		2018	
	ブランド	販売台数	ブランド	販売台数
1	ストーマー	1842	ストーマー	973
2	リーゼ&ミュラー	779	リーゼ&ミュラー	533
3	ガゼレ	462	DUTCH ID	251
4	スパルタ	414	ガゼレ	205
5	DUTCH ID	128	スペシャライズド	141



リーゼ&ミュラー



ストーマー

以上

統計出所：RAI Vereniging /BOVAG

写真：EUROBIKE2018にて当協会撮影